

# <過年度申込用> (税抜)

## 平成 14 年度 再商品化義務量および委託申込量算定用紙(申込用紙2)

紙製容器包装

利用事業者用

(太線枠内に数字を入れ、「自主算定方式」または「簡易算定方式」により当協会への委託申込量及び実施委託料金を計算して下さい。なお、この用紙も提出して下さい。)

自主算定方式		特定事業者コード				特定事業者名		
用途	前事業年度において販売した商品に用いた特定容器包装の量 小数点第1位を四捨五入(kg) ①	①のうち、自ら又は他者への委託により回収した特定容器包装の量(回収量) 小数点第1位を四捨五入(kg) ②	①-②のうち、事業活動により費消した特定容器包装の量 小数点第1位を四捨五入(kg) ③	個々の特定事業者の紙製容器包装の排出見込量(kg) ④=①-②-③	用途別再商品化義務量 自主算定係数 ⑤	再商品化義務量 小数点第1位を四捨五入(kg) ④×⑤	再商品化実施委託単価(円/kg) (税抜)	再商品化実施委託料金(円) (税抜)
容器	食料品				0.13420	(A)		
	清涼飲料等				0.13445	(B)		
	酒類				0.13031	(C)		
	石鹸・塗料等				0.13306	(D)		
	医薬品				0.13894	(E)		
	化粧品等				0.14022	(F)		
	小売				0.13956	(G)		
	上記以外の用途				0.13894	(H)		
包装					0.09640	(I)		
↑						⑥=(A)~(I)の合計	⑦=再商品化実施委託単価	⑧×⑦=再商品化実施委託料金 (1円未満切り捨て)
注1) 省令においては、各比率が「業種別」と表現されていますが、わかりやすく「用途」にあらためました。 (「主たる業種」という意味ではありません。)						再商品化委託申込量(kg)→	40.0円/kg	

簡易算定方式		※「自主算定方式」による算定ができない場合(「自ら又は他者への委託により回収した特定容器包装の量」及び「事業活動により費消した特定容器包装の量」が把握できない場合)には、「簡易算定方式」による算定を行って下さい。この場合、「前事業年度において販売した商品に用いた特定容器包装の量」に簡易算定係数を直接乗じて算定を行います。						
用途	前事業年度において販売した商品に用いた特定容器包装の量 小数点第1位を四捨五入(kg) ①	①のうち、自ら又は他者への委託により回収した特定容器包装の量(kg)	①のうち、事業活動により費消した特定容器包装の量(kg)	個々の特定事業者の紙製容器包装の排出見込量(kg)	用途別再商品化義務量 簡易算定係数 ②	再商品化義務量 小数点第1位を四捨五入(kg) ①×②	再商品化実施委託単価(円/kg) (税抜)	再商品化実施委託料金(円) (税抜)
容器	食料品				0.11407	(A)		
	清涼飲料等				0.10083	(B)		
	酒類				0.11727	(C)		
	石鹸・塗料等				0.12641	(D)		
	医薬品				0.09726	(E)		
	化粧品等				0.11918	(F)		
	小売				0.10467	(G)		
	上記以外の用途				0.09031	(H)		
包装					0.06748	(I)		
↑						③=(A)~(I)の合計	④=再商品化実施委託単価	⑤×④=再商品化実施委託料金 (1円未満切り捨て)
注1) 省令においては、各比率が「業種別」と表現されていますが、わかりやすく「用途」にあらためました。 (「主たる業種」という意味ではありません。)						再商品化委託申込量(kg)→	40.0円/kg	

